

環境調査結果のお知らせ

令和8年6月24日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、3月9日から3月18日まで赤潮（緑色の着色）を形成していたハプト藻類と同一と考えられる植物プランクトンが最高で500 cells/mL確認されました。また、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で520 cells/mL、シャットネラ属が最高で740 cells/mL、ディクチオカ・フィブラが最高で11,000 cells/mL確認されました。カレニア・ミキモトイ及びシャットネラ属は漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（1,000 及び 100 cells/mL）をそれぞれ上回っています。また、ディクチオカ・フィブラは、5,000 cells/mLを超えると漁業被害の発生が懸念されますので十分注意してください。

大鹿の表層から中層及び光松の中層が貧酸素状態になっています。今後、貧酸素水塊が拡大する可能性がありますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ディクチオカ・ フィブラ	ハプト藻
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 鳴無 (1.8m) 【09:35】	0	23.5	27.0	8.3	0	300	1,250	-
	1	24.0	27.8	8.4	0	45	29	-
	2	25.1	29.6	4.1	52	33	37	-
	5	24.3	30.5	0.3	9	4	5	-
	底層 8	24.1	30.9	0.8	0	0	0	-
B 中学校前 (1.5m) 【09:42】	0	24.0	28.0	8.7	0	100	2,400	100
	1	24.2	28.4	8.7	0	40	3,150	-
	2	25.0	29.7	5.9	30	70	2,100	100
	3	24.7	30.1	2.7	260	41	700	-
	4	24.4	30.4	1.5	120	22	130	-
	5	24.3	30.5	1.6	160	26	21	50
	7	24.2	30.7	1.3	1	6	5	-
	10	24.1	31.1	2.1	0	0	0	0
底層 11	24.1	31.2	1.8	0	0	0	0	
C 目ノクソ (1.2m) 【09:56】	0	24.0	27.8	10.1	1	80	510	-
	1	24.6	28.4	10.2	1	42	11,000	-
	2	25.2	29.8	7.7	35	20	3,200	-
	5	24.4	30.5	2.1	120	4	96	-
	10	24.4	31.3	4.0	1	2	26	-
	底層 15	23.6	31.6	0.4	0	0	0	-
D 光松 (1.5m) 【10:06】	0	24.0	28.0	9.4	3	54	1,250	250
	1	24.2	28.7	9.2	7	26	5,600	-
	2	24.8	29.9	5.6	22	160	2,250	300
	5	24.5	30.8	3.0	40	0	74	0
	10	24.6	31.4	5.2	0	0	3	0
	底層 16	24.1	31.8	2.0	1	0	11	50

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ディクチオカ・ フィブラ	ハプト藻
	(m)	(°C)		(mg/L)				
E 大鹿 (1.4m) 【10:25】	0	23.8	27.6	0.0	10	65	2,300	-
	1	24.7	28.7	0.0	7	100	2,240	-
	2	25.0	29.9	0.0	133	53	1,560	-
	5	24.5	30.7	2.4	26	58	24	-
	10	24.6	31.3	5.0	-	-	-	-
	底層 16	24.2	31.8	3.0	0	0	0	-
F 水試小割前 (1.9m) 【10:16】	0	23.5	27.4	8.8	9	108	132	450
	1	24.2	28.9	8.7	30	152	900	-
	2	24.5	29.3	8.2	55	740	4,300	500
	5	24.6	31.3	6.2	520	2	320	200
	8.5	24.5	31.6	6.5	-	-	-	-
	底層 10	-	-	-	45	8	41	100

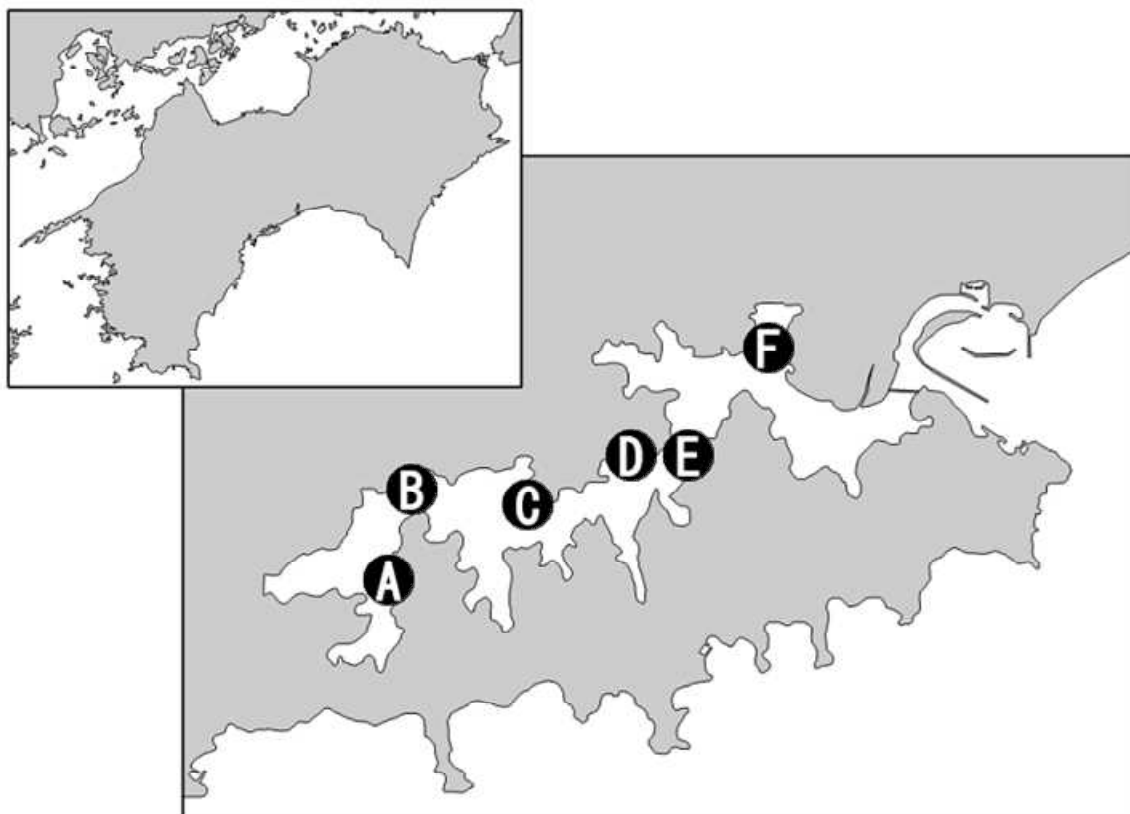
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

E: 大鹿

F: 水試小割前

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



ディクチオカ・フィブラ

最大細胞密度



ハプト藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ
円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

